

コラム

編集・発行：金浦区自治会
発行日：2021. 11. 8

金浦自然との共生シリーズ⑩

文責：波多野 哲哉



金子みすゞの「みんなちがって みんないい」のフレーズは有名ですが、人間の個性で一番よくわかる部分は「顔」だと、生物学者の養老孟子さんはおっしゃっています。たしかに顔は一人ずつ違い、一卵性双生児であっても微妙にちがいますよね。

そしてそれは自然界にもあります。例えば、アサリの貝殻のもよう。例えば、アカハライモリのおなかのもよう。ナミテントウの背中のもようもそうですね。

そして、上の標本のヒメアシナガコガネもその例です。マイナーですが…（笑）

この虫は花粉を食べるのですが、クリの花なんかにはたくさん集まりますので見たことがある人もあるかもしれません。上から見た部分は、基本的には黄みの強いクリーム色の基礎地に様々な黒のもようがありますが、なかには真っ黒なものもあります。この虫は発生時期が長く5月から10月ごろまで見られますが、不思議なことに夏に近づくにしたがって黒っぽい個体が増えるようです。これは季節変異（きせつへんい）と言って、チョウなどでよくある春型、夏型、秋型のような変化が有名です。このちいさなコガネ虫も、もしかしたら生き抜くために季節によって色を変える必要があるのかもしれないですね。虫も人も、みんな生きるって大変ですよ。